

Silk Performer 10.0

リリースノート

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2013. All rights reserved. Silk Performer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2013 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-06-17

目次

Silk Performer 10.0 リリース ノート	4
システム要件	5
インストール	7
Silk Performer 10.0 の新機能	8
CloudBurst SaaS	8
ブラウザ駆動型 Web 負荷テストの強化	8
インタラクティブなテストの要約: キーとなる指標とフォローアップ アクション	9
ユーザー タイプの自動生成	9
結果分析機能の改善	10
ユーザビリティ機能の強化	10
使用技術の更新	11
Silk Performer の既知の問題	12
Silk Performer に関する一般的な問題	12
TrueLog Explorer の問題	13
SAPGUI の問題	14
Citrix に関する問題	14
Oracle Forms の問題	15
Web の問題	16
ブラウザ駆動型負荷テストの問題	16
解決済みの問題	18
更新と SupportLine	21
Micro Focus へのお問い合わせ	21
Micro Focus SupportLine で必要な情報	21
Silk Performer のライセンス管理	22
テスト済みソフトウェア	24

Silk Performer 10.0 リリースノート

これらのリリースノートでは、ヘルプには表示されない場合もある情報について説明します。製品をインストールする前に、これらのリリースノート全体をお読みください。



注: このドキュメントには、外部の Web サイトへのリンクが多く記載されています。Micro Focus は、これらの Web サイトのコンテンツまたはそのサイトがリンクするいかなるサイトのコンテンツについて、責任を負うものではありません。当社では、リンクを常に最新状態に維持することを試みっていますが、Web サイトはその性質上、急に変更されることがあります。このため、当社は、Web サイトの予期したとおりの動作を常に保証するものではありません。

システム要件

以下の表は、Silk Performer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。Silk Performer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

Silk Performer のエージェント ソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために Silk Performer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。

表 1 : 負荷テスト

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	512 MB 推奨 (最小) 1 GB 推奨
仮想メモリ	RAM の 3 倍の仮想メモリ
ハード ディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 650 MB エージェントのみをインストールする場合に 170 MB 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	TCP/IP を備えた Windows ネットワーク (リモート Silk Performer エージェント コンピュータを利用する場合)
ネットワーク アダプター	10 MBit 推奨 (最小) 高速 Ethernet 推奨

Silk Performer の機能を、トラフィックの記録、スクリプティング、監視に使用するには、お使いのシステムが以下の最小要件を満たしている必要があります。

表 2 : 記録、スクリプティング、監視

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	256 MB
ハード ディスク領域	440 MB
ネットワーク	TCP/IP

ソフトウェア要件

Silk Performer をインストールして実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、Silk Performer Java Explorer を実行するには、システムに 32 ビット Java Development Kit 1.4, 1.5, 1.6,

1.7 のいずれかが必要です。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Internet Explorer 7, 8, 9, 10 (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix アプリケーションをテストするための Citrix XenApp Client 11.x, 12.x または Citrix Receiver
- Java Explorer で Java アプリケーションをテストするための 32 ビット Java Development Kit 1.4, 1.5, 1.6, 1.7

インストール

インストール、展開、およびライセンスの問題については、『[Silk Performer インストール ガイド](#)』を参照してください。

Silk Performer 10.0 の新機能

Silk Performer 10.0 では、重要な機能強化と変更がされました。

CloudBurst SaaS

Silk Performer CloudBurst は、テスト対象のシステムが、実際のパフォーマンス要件を満たしているかどうか確認するための使いやすく柔軟性に富んだアプローチを提供します。CloudBurst により、仮想インフラストラクチャ、仮想ユーザー、または必要に応じてこれら 2 つを組み合わせたものをレンタルできます。

CloudBurst を使用すると、永続的なライセンスなしで負荷テストを実行できます。24 時間のテスト期間内に同時実行される仮想ユーザーの指定最大数まで、ユーザー単位で課金されます。

CloudBurst 仮想インフラストラクチャは、複数の地域にまたがって配置できる、設定済みですぐに使用可能な Silk Performer エージェントの形式で使用できます。さらに、使用量に応じて課金される CloudBurst 仮想エージェントと、オンプレミステストインフラストラクチャにアクセス可能な (永続的な Silk Performer ライセンスを使用) 他のエージェントとを組み合わせることもできます。

ブラウザ駆動型 Web 負荷テストの強化

アクション タイマによるレポートの強化

Silk Performer では、ブラウザ駆動型テストにおいて測定時間をカスタム タイマとして処理されずに、新しいアクション タイマが導入されました。この強化により、BrowserNavigate や BrowserClick などの各仮想ユーザーのアクションが、独自のアクション時間を持つようになります。アクション時間は、ブラウザ内の処理やレンダリングを含めて、仮想ユーザーがこのアクションを完了するために必要な時間を意味しています。これらのレスポンス時間は、すべてのレポートで表示できます。概要レポートでのグラフや平均アクション時間によるランキングなどで利用されます。また、アクション時間の境界を設定するオプションもあります。

埋め込みファイルのダウンロードのサポート

Silk Performer は、ブラウザ駆動型 Web 負荷テストスクリプトで、PDF、PPT、XLS、および DOC などを含めて、共通の埋め込みファイル タイプのダウンロードをサポートするようになりました。

マウス移動の挿入

特定の要素 (ボタンやメニュー項目など) 上にマウスを使用して移動する場合のみ項目が表示される Web サイトをテストすると、スクリプトの再生中にエラーが発生します。ホバーリング (マウス移動) イベントは記録されないため、Silk Performer は項目を検出できません。このようなケースの例として、JavaScript で作成されたメニューがあります。ただし、Silk Performer では、スクリプトの再生中にこの問題を修正することができます。

エラーが発生した場合は、**Browser Application** の **問題の解決** ボタンをクリックし、リストから **マウスの移動の挿入** を選択してマウスを UI 要素の上に移動して、キーボードの **Pause/Break** を押し、**挿入** をクリックして **スクリプトの再実行** をクリックします。これでスクリプトがエラーなしで実行されるようになります。

行まで再実行

スクリプトの再生中に **Browser Application** で、最初から特定の行までスクリプトを再実行できるようになりました。 **再生ウィンドウ** 内のステップを右クリックし、 **行まで再実行** をクリックします。

Internet Explorer 10 のサポート

ブラウザ駆動型 Web 負荷テストは、Internet Explorer 10 でも利用可能になりました。

ロケーターに対する一貫した空白トリミングと検証

Silk Performer では、使用している Internet Explorer のバージョンまたはモードにかかわらず、一貫して空白がトリミングされるようになりました。 Silk Performer 10.0 の以前のバージョンの Silk Performer で記録された BDL スクリプトを使用する場合は、ロケーターおよび検証値を適合する必要がある場合があります。

Locator Spy 内のクリップボードへのコピー

Locator Spy の右側のウィンドウで、プロパティを右クリックしてプロパティ名、プロパティ値、またはそれら両方をクリップボードにコピーできるようになりました。 両方をコピーした場合は、文字列が @name='value' の形式で保存されます。 実際の例では、@hideFocus='false' のようになります。 これにより、 **ロケーター** フィールドのプロパティを交換する便利な方法を提供します。

スクリプトの試行中の検証の追加

検証をスクリプトに追加する場合、以前はスクリプトの記録中に行うか、または記録した後に検証関数をスクリプトに手動で書き込むことによって行っていました。 このバージョンから **Browser Application** 内でスクリプトの試行中にも検証を追加できるようになりました。 ステップ モードを使用している場合など、再生が一時的に停止されているときに、 **Locator Spy** ウィンドウを介して検証を追加できます。 スクリプトの試行中における検証の追加は、記録中に検証を挿入するのと全く同じように機能します。

インタラクティブなテストの要約: キーとなる指標とフォローアップ アクション

Silk Performer はテストが完了するたびに、デザインを一新した要約ページを表示するようになりました。 スクリプトの試行、ベースライン テスト、負荷テストの完了後に、重要なすべての結果情報と、 **次のステップ** についての提案を含んだ要約ページが表示されます。

要約ページには、テスト期間、エラーの数、仮想ユーザーとエージェントの使用数、失敗したトランザクション数と成功したトランザクション数、発生したすべてのエラーのリスト、グラフ、その他多くの情報が表示されます。

それぞれの要約ページの右側には、 **次のステップ** ボタンとその他の有用なボタンがあり、関連ログやエラー ファイルを参照することができます。 要約ページの要素に関する詳細が記載されたヘルプ トピックへのリンクも含まれています。

ユーザー タイプの自動生成

ユーザー タイプは、スクリプト、プロファイル、およびユーザー グループの一意的組み合わせで定義されます。 Silk Performer で、ユーザー タイプのすべての可能な組み合わせを自動的に生成し、 **ユーザー タイプの定義** および **ベースラインの検索** ダイアログ ボックスで組み合わせをリスト表示できるようになりました。 必要なことは、目的のユーザー タイプをワークロードに割り当てるだけです。 ユーザー タイプのリストをフィルタし、ダイアログで新しいプロファイルを直接追加できます。

結果分析機能の改善


Silk Performer は、時系列データによる詳細な結果分析や、10 秒未満の時系列計算間隔を選択するオプションが提供するようになりました。

時系列データによる詳細な結果分析

t@... で始まる .tsd ファイルには、1 つのエージェントからの特定のユーザー タイプの時系列データが含まれます。k@... で始まる .tsd ファイルには、すべてのエージェントに対する特定のユーザー タイプの時系列データが含まれます。

10 秒未満の時系列計算間隔の選択

時系列データに対する 10 秒未満の計算間隔をプロファイル設定で選択できるようになりました。設定 > 再生 > 結果 > 時系列 を選択します。そして、リストから計算間隔を選択します。

 **注:** エージェントに高負荷がかかるため 10 秒未満の計算間隔は推奨されません。

ユーザビリティ機能の強化

Silk Performer 全体にわたって、以下のようにユーザビリティ機能が強化されています。

結果ツリーからの結果の要約へのアクセス

Silk Performer を使用して、**結果ツリー**から 結果の要約（スクリプトの試行の要約、ベースライン テストの要約、負荷テストの要約）にアクセスできるようになりました。

ワークロードを調整するダイアログ ボックスの機能強化

ワークロードの調整 ダイアログ ボックスはデザインが一新され、更新されました。ワークロード モデルの選択と、必要なすべてのシミュレーション時間の指定が同じダイアログ ボックスでできるようになりました。使用できない値を入力すると、そのフィールドがハイライト表示されます。

Microsoft Silverlight アプリケーション用の値のカスタマイズ

TrueLog Explorer は、Microsoft Silverlight アプリケーション用に入力データを視覚的にカスタマイズできるようになりました。XML 入力データを **ポスト データ** タブに表示することにより、ユーザーは **パラメータウィザード** を使用して入力値を変更することができます。

アプリケーション タイプの簡易フィルタと選択

プロジェクトの概要設定 ダイアログ ボックスでは、アプリケーション タイプのリストのフィルタリングのため、定義済みリスト エントリから選択することができます。 **クラウド実行に適したもの** アプリケーション タイプのみを表示するには、対応するエントリを選択します。当然ながら、任意のストリングを入力して、アプリケーション タイプのリストをフィルタリングすることもできます。

コマンド ラインから Silk Performer を開始する新しいパラメータ

Silk Performer をコマンド ラインから開始する場合、新しいパラメータ値 /Resultsdir:directory が使用できます。このパラメータは、負荷テストの結果が保管されるディレクトリを指定します。

使用技術の更新

WebSphere

長年にわたる Performance Explorer による WebSphere 6.1 の監視サポートに加え、Silk Performer では、JMX によって IBM WebSphere Application Server 7、8、8.5 の監視がサポートされるようになりました。

BMC Remedy 8.1

Silk Performer が Remedy 8.1 をサポートするようになりました。

JSON 用 BDL API

Silk Performer は、JSON データを操作するための API 関数を提供するようになりました。配列、オブジェクト、シンプルデータ型などの特定の JSON 要素では、クエリしたり変更したりできます。これは、JSON データのカスタマイズや検証を行う際に特に有効です。

Silk Performer の既知の問題

ここでは、Silk Performer の既知の問題と該当する場合はその回避策について説明します。

Silk Performer に関する一般的な問題

Eclipse Plug-In が Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows Server 2012 上で機能しない

問題：

Silk Performer Eclipse Plug-In は Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows Server 2012 上で機能しません。

解決策：

Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows Server 2012 上では、Eclipse を互換モードで実行します。互換モードで実行するには、以下の手順を実行します。

1. eclipse.exe を右クリックして、**プロパティ** を選択します。
2. **プロパティ** ダイアログ ボックスで、**互換性** タブをクリックします。
3. **互換モード** セクションで、**互換モードでこのプログラムを実行する:** をチェックし、Windows 7 を選択します。

マルチバイト文字セットのサポート制限

問題：

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは特定のアプリケーションの種類に制限されます。

解決策：

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは以下のアプリケーションの種類に制限されます。

- Web アプリケーション テスト (プロトコル レベルおよびブラウザ駆動レベル)
- SAPGUI テスト
- Oracle Forms/Oracle Applications テスト
- Citrix テスト

光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない

問題：

光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない

解決策：

残念ながらこの問題の解決策はありません。Silk Performer では、光学式文字認識を行うのにサードパーティの DLL を使用しており、この DLL は ASCII 文字のみをサポートしています。

Silk Performer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法

問題：

Silk Performer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法を教えてください。

解決策：

Silk Performer では、GUI コントロールを右クリックして、**ヘルプ** を選択すると、GUI 機能に関する情報が表示されます。このコンテキスト ヘルプは Windows Vista で動作しません。これは既知の問題で、Windows Help プログラム WinHlp32.exe が Windows Vista に搭載されていないことと関連しています。この問題を解決するには、32 ビット .hlp ファイル用のプログラムを Microsoft ダウンロード センターからダウンロードします。詳細については、<http://support.microsoft.com/kb/917607> を参照してください。

TrueLog Explorer の問題

アクセス中のウイルス スキャナ ソフトウェアにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがある

問題：

アクセス中のウイルス スキャナにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがあります。

解決策：

ウイルス スキャナ ソフトウェアは、TrueLog Explorer のクラッシュやパフォーマンスの劣化など、さまざまな問題が発生する可能性があります。負荷テストの間は、エージェント コンピュータおよびコントローラ コンピュータでウイルス スキャナ ソフトウェアを無効にすることを推奨します。

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に視覚的なスクリプトの変更に失敗する

問題：

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に、視覚的なスクリプトの変更に失敗します。

解決策：

BDH ファイルにトランザクションを移動しないでください。

ビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能がブラウザ レベル スクリプトで機能しない

問題：

ビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能が、ブラウザ レベル スクリプトで機能しません。

解決策：

この動作は仕様です。HTML フォーム名は HTML フォームおよび BDL フォームと一致している必要があるため、TrueLog Explorer は、WebPageSubmit 呼び出し (ページ ベースのブラウザ レベル API) によって送信されたフォームのみを考慮します。TrueLog Explorer のビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能を使用してスクリプトをカスタマイズする場合、ページ ベースのブラウザ レベル API スクリプトを記録する必要があります。

SAPGUI の問題

コントロール位置情報を SAP から正しく取得できない

問題：

まれに、コントロール位置情報を SAP から正しく取得できないことがあります。このため、TrueLog Explorer では、選択したコントロール矩形をスクリーンショットの正確な位置に表示できない場合があります。

解決策：

スクリーンショットの代わりにコントロール ツリーを使用します。

Citrix に関する問題

UAC がオンの状態のときに Citrix スクリプトがタイムアウトする

問題：

Citrix スクリプトの記録/再生時に 30 秒間遅延して、タイムアウト エラーが発生します。この遅延は、UAC がオンのときにのみ発生します。

解決策：

Citrix スクリプトの記録/再生を正しく行うには、UAC をオフにします。

Citrix 記録中に既存のセッションに接続すると、使用できないスクリプトが生成される

問題：

Citrix 記録中に既存のセッションに接続すると、使用できないスクリプトが生成されます。

解決策：

既存の Citrix セッションに接続すると、Citrix クライアントではすべてのウィンドウを認識しないので、同期関数はスクリプト化されません。必ず新しいセッションを記録してください。

Oracle Forms の問題

主要な Oracle Forms アプレット クラスをフックした後、そのクラスに依存しているその他の jar ファイルを JInitiator によってロードできない

問題

主要な Oracle Forms アプレット クラスをフックした後、そのクラスに依存しているその他の jar ファイルを JInitiator によってロードできません。

解決策

Oracle Forms または Oracle Applications を記録するときに、**JInitiator プロパティ** ダイアログで次の Java ランタイム オプションを定義します："-noverify -mx128m" NoVerify を指定することで、このロード問題を回避できます。また、JInitiator 1.1.7.x のデフォルトの **仮想メモリ サイズ** は、16 から 64 MB です。オプション -mx128m は、仮想メモリ サイズを 128 MB に増やします。記録によって追加のメモリ オーバーヘッドが発生するので、この追加メモリが必要になります。OutOfMemory エラーが発生した場合は、この値をさらに増やすことができます。

Oracle Forms の記録中にブラウザがクラッシュする

問題

Oracle Forms の記録中にブラウザがクラッシュします。

解決策

Oracle Forms 6i を記録するときは、Java ランタイム設定で Java JIT (Just-In-Time コンパイル) を無効にすることをお勧めします。この理由は、Java 仮想マシンの JIT ライブラリー (symcjit.dll) が原因でブラウザがクラッシュする可能性があるためです。

Java JIT は、次のいずれかのオプションを使用して無効にできます。

オプション 1 : Oracle **JInitiator プロパティ** ダイアログの Java ランタイム設定で -DJAVA.COMPILER=NONE を定義します。この操作は、JInitiator と一緒にインストールされる JInitiator コントロール パネルを使用して行う必要があります (Windows コントロール パネルでこのコントロール パネルにアクセスできます)。

1. JInitiator コントロール パネルを起動します。
2. DJAVA.COMPILER=NONE を **Java 実行時のパラメータ** テキスト フィールドに追加します。
3. **適用** をクリックします。

オプション 2 : [Oracle JInitiator プロパティ] ダイアログのチェック ボックスを使用して、Just In Time コンパイラを無効にします (バージョン 1.1.8.x 以降のみ対象)。

1. JInitiator コントロール パネルを起動します。
2. **詳細** タブを選択します。
3. **Enable Just In Time Compiler** チェック ボックスをオフにします。
4. **適用** をクリックします。

オプション 3 : 環境変数 JAVA_COMPILER=NONE を定義します。

1. **マイ コンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** を選択します。
2. **詳細設定** を選択します。
3. **環境変数** を選択します。
4. **システム環境変数** で **新規** をクリックします。
5. **変数名** に JAVA_COMPILER を入力します。
6. **変数値** に NONE を入力します。
7. **OK** をクリックしてダイアログを終了します。

Web の問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録が動作しない

問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録は動作しません。

解決策

スクリプトを記録する前に、すべてのブラウザ ウィンドウを閉じます。

ブラウザ駆動型負荷テストの問題

ブラウザ駆動型負荷 テストの IE 互換性

問題

Internet Explorer (IE) 9.0 がインストールされている場合、IE7 標準モード (7000) 用の設定だけが正しく機能します。レジストリ設定は、正しく書き込まれますが、Silk Performer 内の IE コントロールによって使用されることはありません。Internet Explorer 10 は現在サポートされていません。使用すると、Silk Performer はエラー メッセージをログに出力します。Internet Explorer 10 の内部バージョンは「9.10」で、エラー メッセージにはこのバージョンが表示されます。

解決策

この問題に対する回避策はありません。ただし、Internet Explorer 8 がインストールされている場合、IE8 と IE7 モードを使用できます。

解決済みの問題

以下の問題が、Silk Performer10.0 において修正されました。

問題番号	説明	メモ
RPI 1076583	Performance Explorer が、絶対開始時刻を持つテストから、エラー詳細を表示しない。	
RPI 1079460	最初に項目を選択しないで関数 OraFormsVerifyListValue を使用しようとすると、再生時にその関数が NullPointerException を報告する。	
RPI 1082403	埋め込みドキュメントを持つスクリプトの再生に失敗する場合がある。	PDF ドキュメントと Word ドキュメントは、内蔵 ActiveX コントロールを使用してビューアやブラウザで表示できますが、それが含まれたスクリプトが失敗することがあります。
RPI 1083944	プロトコル特定のオプションを設定する際に フォーム フィールド設定の詳細情報 がオフになっていると、コメントが削除されない。	このオプションは指定されたとおりに動作しています。ドキュメントが更新され、このオプションの詳しい使用方法が記載されるようになりました。
RPI 1084044	[結果の追加] コマンドを使用して複数の .tsd ファイルを追加した際に、結果が見つからない。Performance Explorer では、ルートの project フォルダの下にある project result フォルダのうち、いずれか 1 つしか選択できません。	
RPI 1084452	新しい結果が承認された後でも、以前承認されたベースラインからの目標セッション時間が使用される。	
RPI 1086408	ヘルプに含まれる WebVerifyHtml 関数の nSeverity 値を更新する要求。	ドキュメントが更新され、nSeverity のすべての値が記載されるようになりました。
RPI 1086587	エラー「StInitSession(GUI レベル テストの再生: 10 - 仮想ユーザー情報、SilkTest 接続がタイムアウトしました。)」が発生する。	
RPI 1086673	Oracle Monitoring の前提条件に関する Performance Explorer ヘルプの内容が古い。	
RPI 1086764	Silk Performer ヘルプ トピック「Web フォーム宣言」にリンク切れがある。	リンクが置き換えられました。
RPI 1087084	Redhat Enterprise Linux 6.1 サーバーの vmstat 出力 (sp90-perfexp rexec/vmstat) の監視に Performance Explorer	

問題番号	説明	メモ
	を使用している場合、データがグラフに表示されない。	
RPI 1087157	Silk Performer の測定値が Performance Explorer 9.5 を使用して監視できない。	
RPI 1087197	REXEC 監視インターフェイスを追加すると、測定値名に文字列 %nice が含まれている場合に Performance Explorer が異常終了する。	
RPI 1087499	帯域幅シミュレーションにより、エラー WebTcipSendBin(WebEngine: 18 - Could not send all data. が発生する。	
RPI 1087500	ワークベンチ ウィンドウが選択されている場合に、Silk Performer 9.0 での Citrix スクリプト試行中に、Citrix Player が異常終了する。	
RPI 1087502	Silk Performer のセットアップ中に Microsoft .Net Framework のインストールが失敗する。	
RPI 1087740	Silk Performer 9.5 で値のカスタマイズ ウィザードを使用している場合、エラー コンパイル エラー SYN124: unexpected token in this section が表示される。	
RPI 1087792	Performance Explorer と OracleMonitoring.sep を使用している場合、測定値から NULL Data - PDCE: 701 message due to included Exclusion List メッセージが戻る。	
RPI 1087817	以前のバージョンの Silk Performer がインストールされているシステムに Silk Performer 9.5 をインストールすると、すべてのバージョンの Silk Performer でライセンス設定ツール (smConfig.exe) が異常終了する。	
RPI 1088010	Silk Performer 9.5 がドイツ語オペレーティングシステムにインストールされている場合、その後インストールされた realtime.ini ファイルが英語版になる。	
RPI 1088041	ユーザーが GUI レベル テストを実行している場合、ターミナル サービス マシン上の Silk Test Open Agent は、SilkMeter からのライセンスをチェックアウトする。	
RPI 1088118	開始画面を無効にしても、常に表示される。	

問題番号	説明	メモ
RPI 1088284	サポートされるバージョンの Eclipse で、リリース ノートにリストされていないものがある。	
RPI 1088434	サーバー (イントラネットおよびインターネット) への接続時、および [DNS 検索をエミュレートする] 設定の選択時に、Silk Performer 9.5 でエラー (WinSock: 10061 - 接続が拒否されました、host="uaentrez1.spb.de:10000", attempts=3) が発生する。	
RPI 1088521	Silk Performer 9.5 の 30 日間評価バージョンをインストールすると、SAM、.Net Explorer および Java Explorer で評価ライセンスが使用できなくなる。この評価バージョンは、Silk Performer 9.5 ワークベンチでのみ使用可能です。	
RPI 1088553	Silk Performer が WebPageForm(WebEngine: 100 - コンテンツの解凍に失敗しました。内部エラー コード: -3) を報告し、パーサーが内容を読み取らないため、その後の検証に失敗する。	
RPI 1088610	FreeRDP への移動時に、Silk Performer がローカルユーザーのみをサポートする。エラー SYSTEM 10054 - An existing connection was forcibly closed by the remote host が表示される。	
RPI 1088856	WebUrlBeginPage タイマが概要レポートおよびベースライン レポートで報告されない。	

更新と SupportLine

当 Web サイトでは、最新の問い合わせ電話番号および住所の詳細を提供しています。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマ サポートを受けることができます。弊社の熟練したスタッフが、可能な限り迅速に専門家としてお客様の質問にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine で必要な情報

Micro Focus SupportLine に連絡する際、可能な場合は以下の情報も提供してください。詳細な情報をご提供いただければ、Micro Focus SupportLine はより効果的なサポートが可能になります。

- 問題の原因と考えられるすべての製品の名前とバージョン番号。
- コンピュータのメーカーと機種。
- オペレーティング システム名とバージョン、プロセッサ、メモリの詳細などのシステム情報。
- 問題を再現する手順などの、問題の詳細な説明。
- 関係するエラー メッセージの正確な表現。
- シリアル番号。

これらの番号を見つけるには、Micro Focus から受信した Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文を参照してください。

Silk Performer のライセンス管理

このセクションでは、Silk Performer のライセンス ポリシーの取得方法と、SilkMeter のインストール方法について説明します。SilkMeter をインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。



注: Silk Performer には、SilkMeter バージョン 2008 以降と Silk Performer ライセンス ポリシーが必要となります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

Silk Performer ライセンス ポリシーを既にお受け取りの場合には、そのライセンス ポリシーをライセンス サーバー上へインストールしてください。ライセンス ポリシーをまだ受け取っていない場合には、ライセンス ポリシーを生成します。

ライセンス情報

Silk Performer 10.0 には、新たに 10.0 のライセンスが必要です。バージョン 10.0 へのアップグレード処理中に以前のバージョンの Silk Performer を実行する場合、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

Silk Performer のライセンス モデルは、仮想ユーザー タイプ (VUser タイプ) に基づいています。利用可能な VUser タイプである、Web、標準、プレミアム には、次の Silk Performer のアプリケーションの種類があります。

VUser タイプ	アプリケーションの種類
Web	Web ブラウザ駆動 HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル) HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル) HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP) Silverlight モバイル SAP NetWeaver WebDAV (MS Outlook Web Access) 電子メール (SMTP/POP) FTP TCP/IP UDP AMF0/AMF3/FLEX DLL インターフェイス
標準	Web すべてとそれに加えて : .Net Add-On Java Add-On

VUser タイプ	アプリケーションの種類
プレミアム	DB2-CLI Add-On OCI Add-On ODBC Add-On Visual Basic Add-On (Framework) ディレクトリ サーバー (LDAP) CORBA Add-On 標準 すべてとそれに加えて : GUI レベルテスト (Silk Test 4Test スクリプト) Remedy Web ARS SAPGUI Add-On for Silk Performer Oracle Applications/Forms Add-On PeopleSoft Add-On Siebel Add-On Citrix Add-On ターミナル エミュレーション (緑画面) Add-On Tuxedo/ATMI Add-On


テスト済みソフトウェア

このセクションでは、Silk Performer がテストされたソフトウェアの一覧を示します。

システム領域	テスト対象
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows XP 32bit with Service Pack 3• Microsoft Windows XP 64bit with Service Pack 2• Microsoft Windows Server 2003 32bit with Service Pack 2• Microsoft Windows Server 2003 64bit with Service Pack 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 32bit with Service Pack 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 64bit with Service Pack 2• Microsoft Windows Vista 32bit• Microsoft Windows Vista 64bit• Microsoft Windows Server 2008 32bit• Microsoft Windows Server 2008 64bit• Microsoft Windows Server 2008 R2• Microsoft Windows 7 32bit• Microsoft Windows 7 64bit• Microsoft Windows 8 32bit• Microsoft Windows 8 64bit• Microsoft Windows Server 2012
Web ブラウザ	<p>プロトコルベースの負荷テストの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer 6, 7, 8, 9, 10• Mozilla Firefox• Google Chrome• Apple Safari <p>ブラウザ駆動型負荷テストの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer 7, 8, 9, 10
ターミナル エミュレーション サポート	<ul style="list-style-type: none">• AttachMate Extra 8• AttachMateWRQ 13.0• Distinct IntelliTerm 8.1• Ericom Powerterm Pro v8.8.1• HummingBird_Exceed 11.0 (hooking via socks proxy)• JProtector 4.5.2.0• MochaSoft 5.3 (hooking via socks proxy)• NetTerm 5.1.1• Nexus Terminal 5.3• PassportPC2Host 3• Quick3270 3.73

システム領域	テスト対象
ERP/CRM サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Rumba 7.4 • Rumba 8 • Rumba 9 • SDI TN3270 Plus v2.4 • SecureCRT 1.0 • TeraTermPro 2.3 • TN5250_sourceforge 0.17.3 • TNBridge <p>SAPGUI クライアント :</p> <ul style="list-style-type: none"> • SAPGUI クライアント 720 • SAPGUI クライアント 730 <p>PeopleSoft システム : PeopleSoft 8.0, 8.3, 8.4, 8.8, 9.0</p> <p>Siebel システム :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Siebel 6.3 using MS SQL Server • Siebel 6.3 using IBM DB2 • Siebel 6.3 using Oracle • Siebel 7 • Siebel 8.0, 8.1 <p>Clarify システム : Clarify eFrontOffice 8, 10</p> <p>Remedy Web ARS : Remedy Web ARS 7.5, 7.6, 7.6.04, 8.0, 8.1</p>
Citrix サポート	<p>Citrix クライアント :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenApp Client 11.x, 12.x • Citrix Web Interface 5.1, 5.2, 5.3 • Citrix Receiver <p>Citrix サーバー :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenApp 6.5 <p>オペレーティング システム :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows XP • Microsoft Windows Server 2003 • Microsoft Windows Server 2008 • Microsoft Windows 7 with UAC turned off • Microsoft Windows Server 2008 R2 with UAC turned off
Oracle Forms サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle Forms 6i, 9i, 10g, 11g • Oracle Applications 11i, 12i

システム領域	テスト対象
SOAP サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft SOAP Toolkit 2.0 Service Pack 2 (SP2), Internet Information Server 5 • Apache-SOAP Version 2.1, TOMCAT Version 3.1
Web サービス サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Axis 1.x • Axis2 1.4, 1.5 • GlassFish Metro 1.5
データベース サポート	<ul style="list-style-type: none"> • IBM Universal Database Systems 5.2, 6.1, 7.1 • Microsoft SQL Server 2005, 2008, 2008 R2, 2012 • Oracle7 Server Release 7.3.2.2.1 • Oracle8 Enterprise Edition Release 8.0.3.0.0, 8.0.5.0.0 • Oracle8i Release 8.1.5, 8.1.6, 8.1.67 • Oracle Database 10g Release 2 • Oracle Database 11g Release 2 • Sybase SQL Anywhere Network Server 5.5.04
CORBA サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle WebLogic Enterprise 5.0.1, 6.0, 6.1 • Micro Focus VisiBroker • Micro Focus Orbix • IBM WebSphere
TUXEDO サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle TUXEDO Server 6.3, 6.4, 7.0, 7.1, 8.0, 9.0 • Oracle WebLogic Enterprise 4.2
Jolt サポート	Oracle Jolt 1.1 (including Oracle TUXEDO Server 6.4), 1.2
Java サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Java Development Kit 1.4, 1.5, 1.6, 1.7 • IBM Java Development Kit • Eclipse 3.6, 3.7, 3.8, 4.2
.NET サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft .NET Framework 2.0, 3.0, 3.5, 4.0, 4.5 • Microsoft Visual Studio 2010 and 2012 • WCF Web Services
リッチ インターネット アプリケーション (Web 2.0)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Silverlight 4, 5 • Apache Flex 2, 3, 4 • GraniteDS 2.3.2 • BlazeDS 3.2.0 • Google Web Toolkit • ExtJS • Eclipse RAP • script.aculo.us
SNMP サポート	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPv2-MIB • RFC1213-MIB • RDBMS-MIB

システム領域	テスト対象
	<ul style="list-style-type: none"> • ORADB-MIB • httpServer-MIB • ftpServer-MIB • SUN-MIB • BEA-WEBLOGIC-MIB • APPSRV_MIB (NetDynamics) • SQUID-MIB <p> 注: To find RFCs and vendor MIBs on the Web, visit The Internet Engineering Task Force.</p>
ファイアウォール トンネリングのためのプロキシ サーバ —	<ul style="list-style-type: none"> • WinGate • Squid • Dante • Microsoft ISA Server
ソースコード管理インテグレーション (SCCI) サポート	<ul style="list-style-type: none"> • StarTeam (with SCC Integration patch) 2005 R2, 2006, 2008